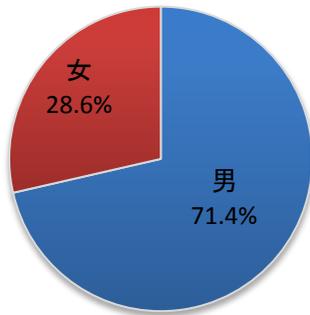


広報広聴事業に関する調査

調査対象者 市政モニター(43人)
 調査期間 平成26年11月19日～12月3日
 回答者数 28人(回答率65.1%)

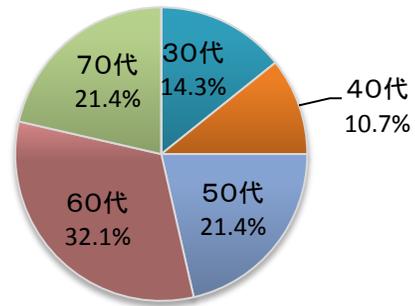
【回答者プロフィール】

性別



	回答数	割合(%)
男	20	71.4
女	8	28.6
計	28	

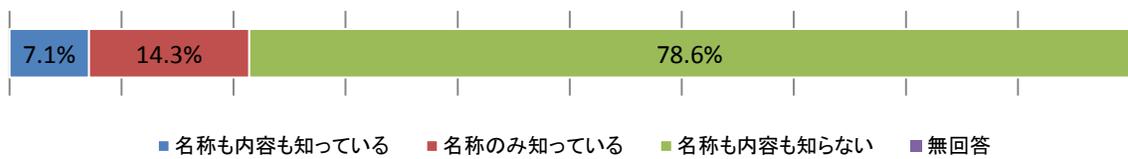
年代



	回答数	割合(%)
30代	4	14.3
40代	3	10.7
50代	6	21.4
60代	9	32.1
70代	6	21.4
計	28	

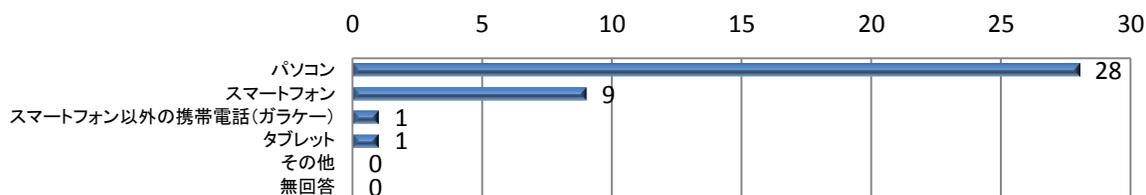
【1】「旭川市広報広聴戦略プラン」を知っていましたか。

項目	回答数	割合(%)
名称も内容も知っている	2	7.1
名称のみ知っている	4	14.3
名称も内容も知らない	22	78.6
無回答	0	0.0



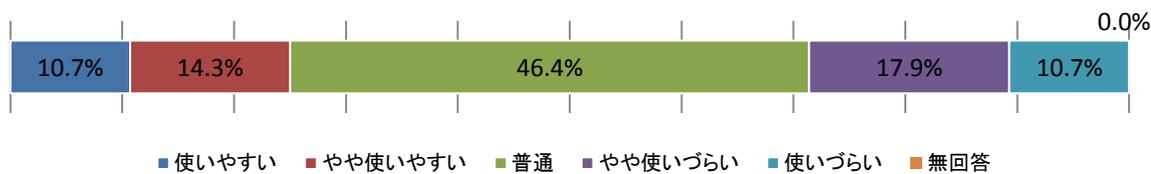
【2】普段、インターネットをどのような手段で見えていますか。(5項目まで)

項目	回答数
パソコン	28
スマートフォン	9
スマートフォン以外の携帯電話(ガラケー)	1
タブレット	1
その他	0
無回答	0



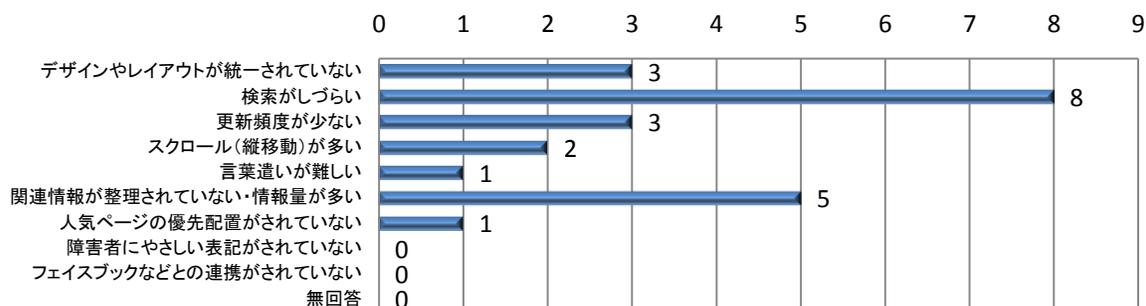
【3】市ホームページの使いやすさ(情報の探しやすさ)はいかがですか。

項目	回答数	割合(%)
使いやすい	3	10.7
やや使いやすい	4	14.3
普通	13	46.4
やや使いづらい	5	17.9
使いづらい	3	10.7
無回答	0	0.0



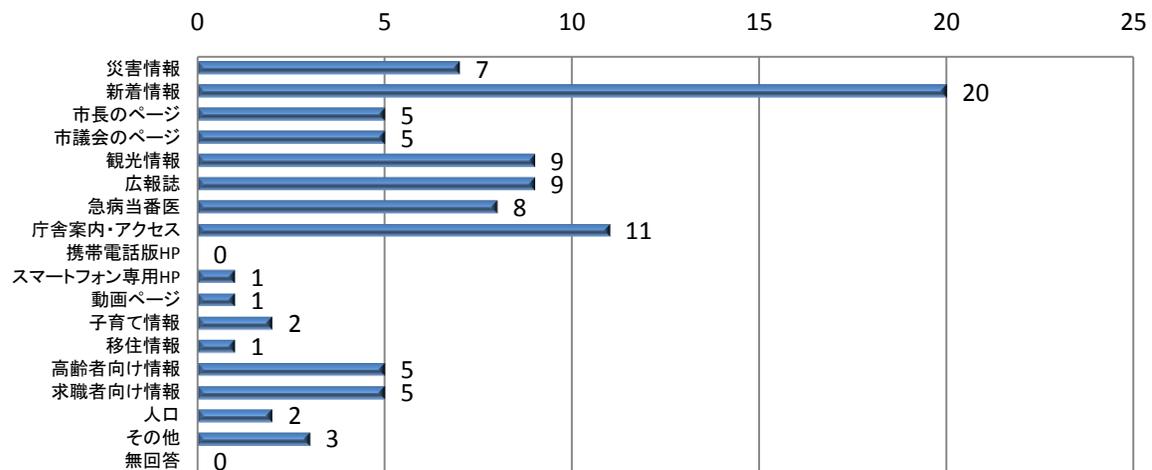
【4】【3】で「やや使いづらい」、「使いづらい」と回答した方は、その理由を教えてください。(5項目まで)

項目	回答数
デザインやレイアウトが統一されていない	3
検索がしづらい	8
更新頻度が少ない	3
スクロール(縦移動)が多い	2
言葉遣いが難しい	1
関連情報が整理されていない・情報量が多い	5
人気ページの優先配置がされていない	1
障害者にやさしい表記がされていない	0
フェイスブックなどとの連携がされていない	0
無回答	0



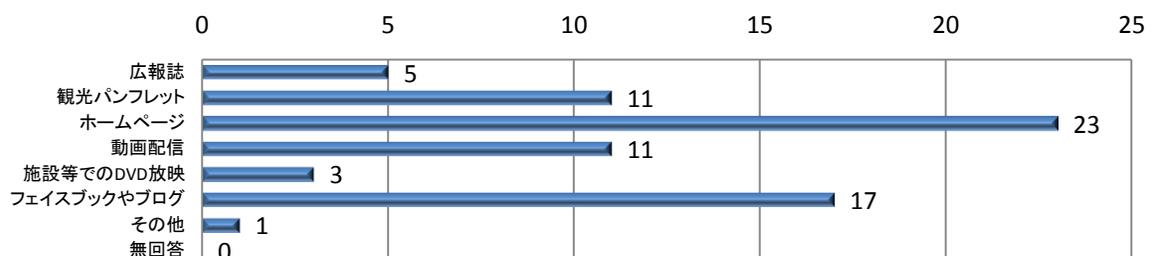
【5】次のうち、トップページ(最初に見える画面)に必要な情報は何か。(5項目まで)

項目	回答数
災害情報	7
新着情報	20
市長のページ	5
市議会のページ	5
観光情報	9
広報誌	9
急病当番医	8
庁舎案内・アクセス	11
携帯電話版HP	0
スマートフォン専用HP	1
動画ページ	1
子育て情報	2
移住情報	1
高齢者向け情報	5
求職者向け情報	5
人口	2
その他	3
無回答	0



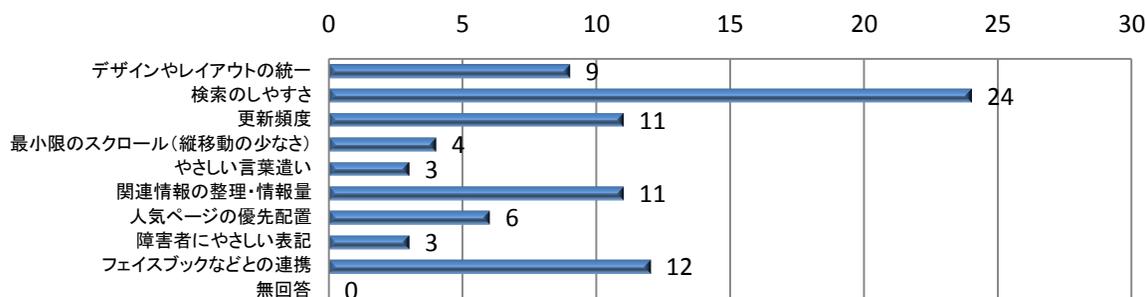
【6】旭川市の魅力を全国にPRするために、どのような手段が有効だと思いますか。(3項目まで)

項目	回答数
広報誌	5
観光パンフレット	11
ホームページ	23
動画配信	11
施設等でのDVD放映	3
フェイスブックやブログ	17
その他	1
無回答	0



【7】今後ホームページを改善する場合、どこに配慮すべきだと思いますか。(5項目まで)

項目	回答数
デザインやレイアウトの統一	9
検索のしやすさ	24
更新頻度	11
最小限のスクロール(縦移動の少なさ)	4
やさしい言葉遣い	3
関連情報の整理・情報量	11
人気ページの優先配置	6
障害者にやさしい表記	3
フェイスブックなどとの連携	12
無回答	0



【8】これまで見た中で、使いやすい・見やすいと感じたのはどのまちのホームページですか。また、その理由を教えてください。

・札幌市のホームページです。シンプルで必要なことは、早引きインデックスで索引できます。また、鷹栖町も見やすいです。

・図書館予約,文化会館,公会堂の行事を閲覧しています。

・特に、意見を言えるほどよくは見えていないので、今回は意見を述べることは控えます。どのページも、あまり不便を感じてはいません。今後注意深く読んで利用させていただきます。

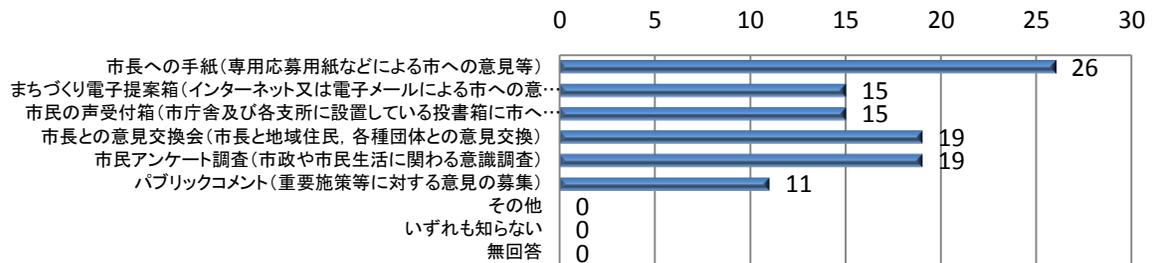
・東神楽町 フェイスブックなどでイベントなどの記事がある。

・大阪府:インデックスのまとまりが良い

・旭川のHPは、とても見やすいですよ。他の市町村と比較・競争しなくても良いですよ。今のまま坦々と・・・お願いします。

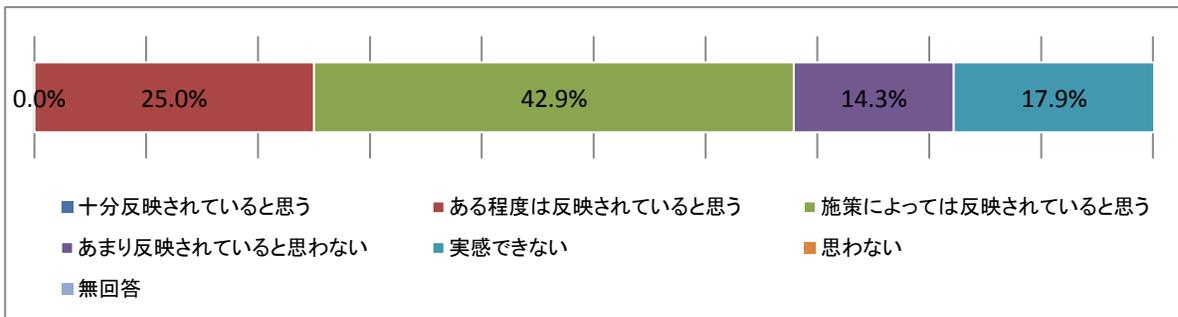
【9】市政やまちづくりに対する意見を把握し、市政に反映させることを目的として実施している広聴事業等のうち知っているものを教えてください。(7項目まで)

項目	回答数
市長への手紙(専用応募用紙などによる市への意見等)	26
まちづくり電子提案箱(インターネット又は電子メールによる市への意見等)	15
市民の声受付箱(市庁舎及び各支所に設置している投書箱に市への意見等)	15
市長との意見交換会(市長と地域住民、各種団体との意見交換)	19
市民アンケート調査(市政や市民生活に関わる意識調査)	19
パブリックコメント(重要施策等に対する意見の募集)	11
その他	0
いずれも知らない	0
無回答	0



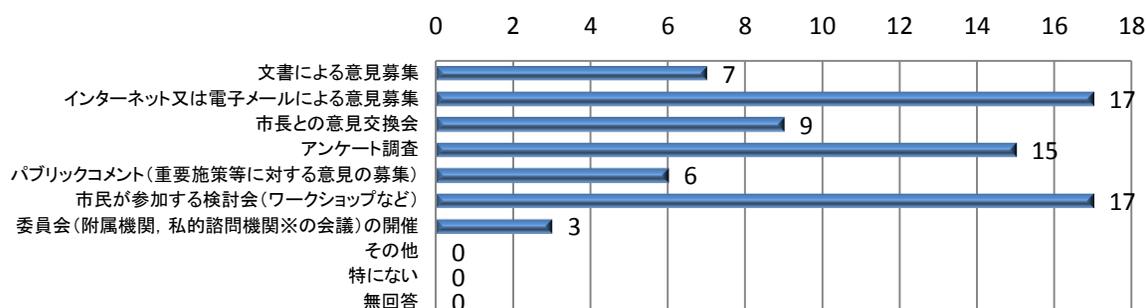
【10】市民の意見などが市政に反映されていると思いますか。

項目	回答数	割合(%)
十分反映されていると思う	0	0.0
ある程度は反映されていると思う	7	25.0
施策によっては反映されていると思う	12	42.9
あまり反映されていると思わない	4	14.3
実感できない	5	17.9
思わない	0	0.0
無回答	0	0.0



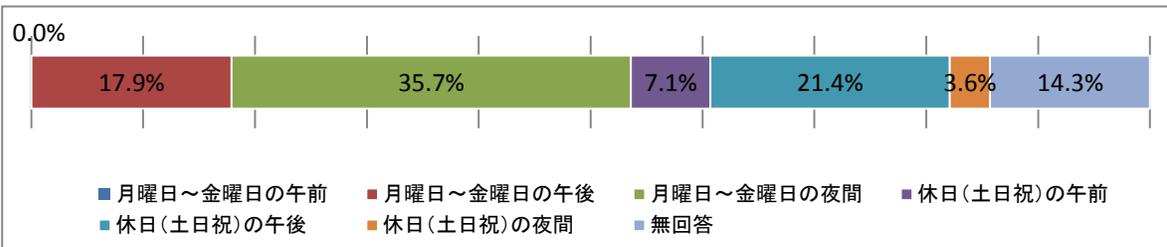
【11】今後、市民の意見などをより一層市政に反映させるためにはどのような広聴事業等を充実させた方が良いと思いますか。(3項目まで)

項目	回答数
文書による意見募集	7
インターネット又は電子メールによる意見募集	17
市長との意見交換会	9
アンケート調査	15
パブリックコメント(重要施策等に対する意見の募集)	6
市民が参加する検討会(ワークショップなど)	17
委員会(附属機関, 私的諮問機関※の会議)の開催	3
その他	0
特にない	0
無回答	0



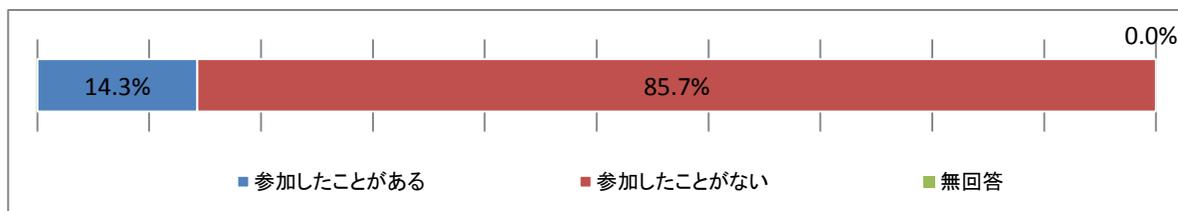
【12】市長との意見交換会を開催する場合、適切だと思う時間帯はどれですか。

項目	回答数	割合(%)
月曜日～金曜日の午前	0	0.0
月曜日～金曜日の午後	5	17.9
月曜日～金曜日の夜間	10	35.7
休日(土日祝)の午前	2	7.1
休日(土日祝)の午後	6	21.4
休日(土日祝)の夜間	1	3.6
無回答	4	14.3



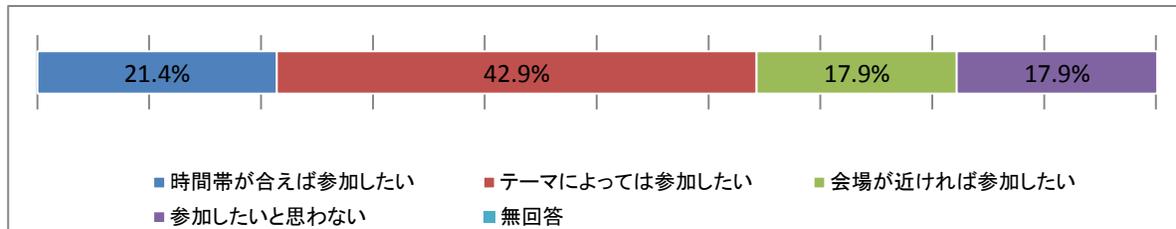
【13】これまで市長との意見交換会に参加したことがありますか。

項目	回答数	割合(%)
参加したことがある	4	14.3
参加したことがない	24	85.7
無回答	0	0.0



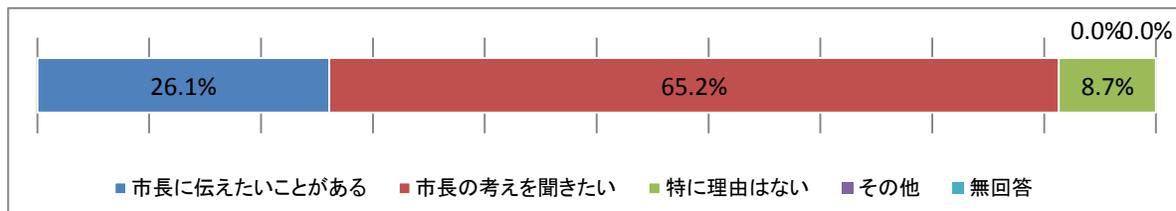
【14】今後、市長との意見交換会が開催された場合、参加したいと思いますか。

項目	回答数	割合(%)
時間帯が合えば参加したい	6	21.4
テーマによっては参加したい	12	42.9
会場が近ければ参加したい	5	17.9
参加したいと思わない	5	17.9
無回答	0	0.0



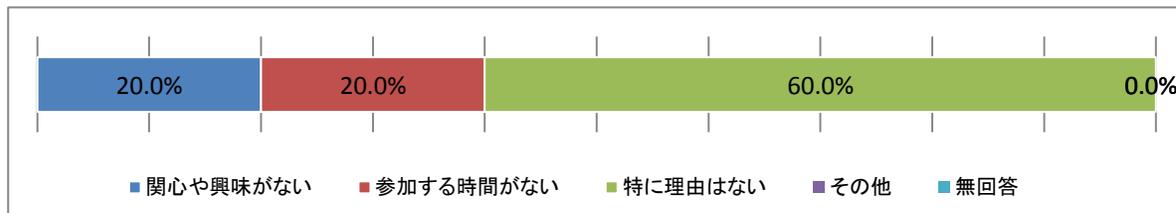
【15】【14】で「参加したい」と回答した方は、参加したいと思う理由を教えてください。

項目	回答数	割合(%)
市長に伝えたいことがある	6	26.1
市長の考えを聞きたい	15	65.2
特に理由はない	2	8.7
その他	0	0.0
無回答	0	0.0



【16】【14】で「参加したいと思わない」と回答した方は、参加したいと思わない理由を教えてください。

項目	回答数	割合(%)
関心や興味がない	1	20.0
参加する時間がない	1	20.0
特に理由はない	3	60.0
その他	0	0.0
無回答	0	0.0



【17】自由意見

広報広聴事業に関する意見を入力してください。

意見交換は特定の人が集まるのでは意味がない。また、市側もただ聞いているだけで、政策に反映されていない。巾広く意見を聞く場が必要と思う。

市民の声を聞くために様々な取組みをされていますが、あまり市民に浸透していない印象が強いです。旭川市広報広聴戦略プランという取組みも名前は立派ですが、その様な活動をされている事すら知りませんでした。年齢や性別など様々なニーズに合った情報発信の在り方を今一度、検討し直す必要があると思います。又、全道全国へ旭川市をPRする事も、限られた予算の中で大変でしょうが、様々な手法を取り入れて進めていかなければなりません。参考までに、STVラジオでよく耳にする、市民が街の良いところや好きな所を発表するラジオCM(今金町など)は分かりやすく良いPR方法だと思います。いずれにせよ、その時だけ旭川市に興味を持ってもらうのではなく、長く愛されるような旭川市を発信しないとイケません。

市役所でいくら発信しても受け手が、受けなければ伝わらないわけで、やはり特効薬はなく地道に知ってほしい対象者に何回も発信する必要があると思います。

旭川市の広報関連事業については、全般的に「大変良い」との印象を持っています。今後ともこのスタンスでお願いします。

1. パブリックコメントについて

公共施設などに応募用紙が用意されているのを目にすることが多いが、公表された結果を見ると、応募者数が極端に少ないことが分かる。過去には、10人に満たないことがあった。各所に配置される相当量の応募用紙がどれほど無駄になっているか、いつも考えてしまう。ある程度具体化された内容、構想について意見を述べることは、一般市民にはかなり難しく、また勇気のいることでもある。パブリックコメント以前に、市が取り組むべき課題、方向を大まかに提示し、それについて市民の具体的な意見や切実な要望を広く集約する手立てをもっと大切にするべきではないか。

2. 各種委員会の設置について

以前、公募されたある委員会に委員として何度か出席したことがある。驚いたことに、公募委員の数は全体の一部分に過ぎず、各種団体・組織から代表として選出されてきた委員が大多数であった。誤解を恐れずに言えば、割り当てで出てきた委員のなかには、提示された事案について意見らしきことは発言せず、承諾・承認に終始する者も少なからずいた。《委員会の設置はアリバイ作り》との声もある。委員会等の構成や公募の在り方を見直す必要があると思う。

広報広聴戦略プラン(指針)に沿って、更なる推進をお願いしたです。

広報活動について、受け手としては広報紙の情報が主で比較的多くの情報を得ているように思います。広聴事業については、難しいですが、(例えば)公立大学構想について、より幅広い意見を聴くとよいと思います。

日ごろより、市民のために一生懸命仕事をされていることに敬意を表します。市長との対話では、挙手して意見を述べるには、かなりの勇気がいりますので、勇気を備えた方でないと言わずらいものです。難しいことですが「声なき声」をどのように聴くかということも大切だと思います。市政の執行について、税金の無駄遣いではないかと思われることがあるので、別の機会に意見を述べたいと思います。

・町内会を通じた活動をもっと積極的に進めたらどうでしょうか。

・広報広聴事業事態よくわからない

・市民の市政やまちづくりに対する意見やアイデアを市政に反映させようとする姿勢はどうか見えるが、市民の意見が採用されることはきわめて少ないと思われます。1, 2度は、意見を出しても、それ以上はその気にならない。そういう思いの人は、私以外にもおられるのではないのでしょうか？

・盛んに事業展開されることが、旭川市にとってとても大切でご苦労が役立っていると感じます。

・問7. 旭川市の魅力を全国にPRするために、どのような手段が有効だと思いますか。
答:特に何もしない。自然体で良いんじゃないでしょうか。住み良い街なら、市民が知人等にPRしてくれますよ。

・HPの使い易さについて、実際にAEONの催事場など人が集まる場所にパソコンを用意して実際にその場でアンケートに応じてもらった方が幅広く意見を聞けると思います。

・わかりやすいホームページづくり、努力してください。

・もっと市民の考え・市政や議会等行政一般に対する要望・意見等を広く多数の市民の方から集められる方法ような事業をお願い致したいと存じます。